松山大学 法学部
松大GP学術講演会

2014年
2月3日(月)

ベルギー・ルーヴァンカトリック大学教授
講師: ワンド・ワーラ 先生
[Prof. Dr. Willy F. Vande Walle]

[略歴] 1949年生。東洋哲学博士(ゲント州立大学)。
1970年 ゲント州立大学東洋学部卒業。1973より京都大学にて日本文化と仏教史を研究。1978年 ルーヴァン・カトリック大学東洋学部日本語学科講師。
1989年 ルーヴァン・カトリック大学東洋学部教授。
2006年 旭日中綬章を受章。2009年 関西大学より名誉博士号を受ける。
ヨーロッパにおける日本研究および東アジア研究の第一人者であり、俳句をはじめとする文学にも精通。昨年末にEU大統領が松山で詠んだ俳句の和訳なども務める。

[背景写真] 加藤恒忠(拓川)翁 (1859年～1923年)
本学園の三恩人の一人。正岡子規の叔父にあたる。
明教館を卒業し、司法省法学校で学んだ後に、フランス代理公使、ベルギー公使、松山選出の衆議院議員、貴族院勅選議員、シベリア派遣特命全権大使等を歴任。 新田長次郎(温山)翁達に懇請されて、松山市長(第5代)に就任し、本学園の設立に尽力する。後に勲一等旭日大綬章を授与される。(写真は、令孫の正岡明氏所蔵のもの)

論題: 1902年～1906年のベルギー
～“拓川”のいたヨーロッパ～

日　時： 2014年2月3日(月)14:00～15:30
場　所： 松山大学　カルフール・ホール
対　象： 学生及び教職員・一般市民(入場無料)
主　催： 松山大学 法学部 松大GP推進委員会
論　題： 「1902年～1906年のベルギー
～“拓川”のいたヨーロッパ～」
講　師： Willy Vande Walle/ワンド・ワーラ先生
(ベルギー・ルーヴァンカトリック大学教授)

〈お問い合わせ先〉
松山大学 教務部教務課 法学部担当
〒790−8578
愛媛県松山市文京町4番地2
電話: 089−926−7137
FAX: 089−923−8920
メールアドレス:
mu-kyomu@matsuyama-u.jp

※ この内容は松山大学法学部ホームページ上でも御確認いただけますので御参照下さい。

MATSUYAMA UNIVERSITY